

## 「おかしいな…」少しでも感じたら受診を

### 兵庫県一の産婦人科を目指して

2010年4月以降、一般婦人科疾患に加え、骨盤臓器脱や尿失禁などの女性泌尿器疾患に力を注いできました。昨年度までに骨盤臓器脱で当院を受診された患者数は500人を超え、手術数も350例を超えました。それに加え、2014年11月に内視鏡技術認定医の錢鴻武医師が着任し、2015年には腹腔鏡では兵庫県下で3番目の認定施設となりま



した。以前は開腹手術が必要であった子宮筋腫や卵巣嚢腫、子宮内膜症でも、ほとんどの症例で腹腔鏡手術が可能となり、最近では、芦屋市以外からの紹介患者さんも多く、昨年度の腹腔鏡手術件数は140例になりました。腔から膀胱や子宮が出てくる病气(骨盤臓器脱)でお困りのかたや、子宮筋腫、卵巣嚢腫などで手術が必要と言われたかたは、ぜひ当院産婦人科にご相談ください。

### 阪神間の人工関節手術の拠点を目指して

整形外科では膝内視鏡治療部門、人工関節部門、骨粗しょう症治療部門を3つの柱として将来のセンター化の準備を進めています。高齢化に伴い、人工関節置換術は芦屋市内で年間100症例以上が予想されています。手術件数の増加に備えて、専用BCR(手術用クリーンルーム)の整備、人工関節手術に習熟した医師の配置を進めてきました。昨年、大阪大学膝関節クリニック・米国

メイヨークリニックを経て清水憲政医師が赴任し、人工関節センター(仮称)の前身として本年4月より毎週月曜日午後11時「人工関節外来」を開設いたしました。手術適応の判断や手術法の選択・説明など患者さんの不安や疑問にお答えします。予約は当院地域連携室で承っております。手術に関心のあるかたのご来院をお待ちしています。



芦屋病院ではより効果的で、より安全な薬物治療を目指しています。例えば、抗がん剤はさまざまな副作用を最小限にすることによって、治療効果を上げることができます。また、ある種の降圧薬は便秘の副作用がありますので、糖尿病や便秘に悩んでおられるかたには、便秘になりにくい種類のお薬を選択する方が良い場合があります。お薬がその効果を十分に発揮して、かつ安全に使用するには高い専門性が必要です。そのため当院では、緩和薬物療法認定薬剤師、外来がん治療認定薬剤師、栄養サポート

### C型肝炎はもう恐くない 新しい肝炎治療

国民病とも言われるC型肝炎ウイルス(HCV)による慢性肝炎は、肝硬変・肝がん・肝不全の原因の約7割を占める恐ろしい病気ですが、従来根治療法としては副作用の激しいインターフェロン療法しかありませんでした。

ところがここ2年の間に出てきた「飲み薬のみ」の治療(直接作用型抗ウイルス剤: DAA)では、実に95%以上の患者さんのHCVがほぼ副作用なく永久排除でき、生命予後はもとより生活の質も劇的に向上することがわかってきました。しかもDAAは従来法と異なり、年齢や肝硬変の有無等に関係なく顕著に効果があらわれます。現在DAAは4種類が健康保険適用されますが、高額医薬品ということで、使用にあたっては、県選定の専門医療機関での公費負担申請、専門医によるHCVタイプ・遺伝子変異・基礎疾患などを考慮した個人ごとの使い分け、その後の援助支援が重要とされています。

市内唯一の専門医療機関である当院のDAA導入数は50例を越えております。これまで「インターフェロンはちょっと…」と治療を諦めていたかたも、ぜひ一度消化器内科外来でご相談ください。

### お薬の効果を最大に

トチーム専門療法士、糖尿病療養指導士、スポーツファーマシストなどの認定薬剤師がいます。お薬のことならどんなことでもお気軽にご相談ください。



外来化学療法

## 人間ドックを受けてみませんか

### 《人間ドック：基本コース(50,000円)》

心電図/血液検査/尿一般検査/便潜血検査/胸部CT/胃カメラ/腹部超音波検査/眼科検査/聴力検査/乳がん検診/子宮頸がん検診/前立腺検査

### 《人間ドック：オプション検査(有料)》

脳ドック/ピロリ菌検査/胃がんリスク検査/腫瘍マーカー/骨密度検査/体液量測定

### 《循環器ドック》

運動負荷コース(18,360円)/冠動脈CTコース(45,360円)



CT撮影装置



運動負荷コース

当院の人間ドックを受診され異常が見つかり、精査・加療を受けられる場合には、受診時の検査データをそのまま活用することができます。

健康維持のために当院の人間ドックをぜひご利用下さい。

申し込み/問い合わせ  
医事課検診担当 ☎31-2156  
月~金曜日・午後2時~4時30分

## インターネットを活用した 地域連携が始まっています

当院では患者さんの診療情報をはかりつけ医である地域の医療機関と共有するために「病診連携システム」を導入しています。これは当院に保管されている検査データや画像データなどの診療情報を高度に暗号化してインターネットで結び、医療機関相互で共有することにより、診療に役立てるためのシステムです。

例えば、かかりつけ医から当院へ紹介となり、当院でCTを撮影した場合、あらかじめシステム参照に関する同意書を取り交わしておけば、その画像情報をはかりつけ医もすぐに見ることができ、情報共有を図ることができます。

地域連携室では、より質の高い医療提供の為に「病診連携システム」の活用を推進する活動を行っています。詳しくは地域連携室までお尋ねください。



地域の医療機関

問い合わせ 地域連携室 ☎31-2156



芦屋病院